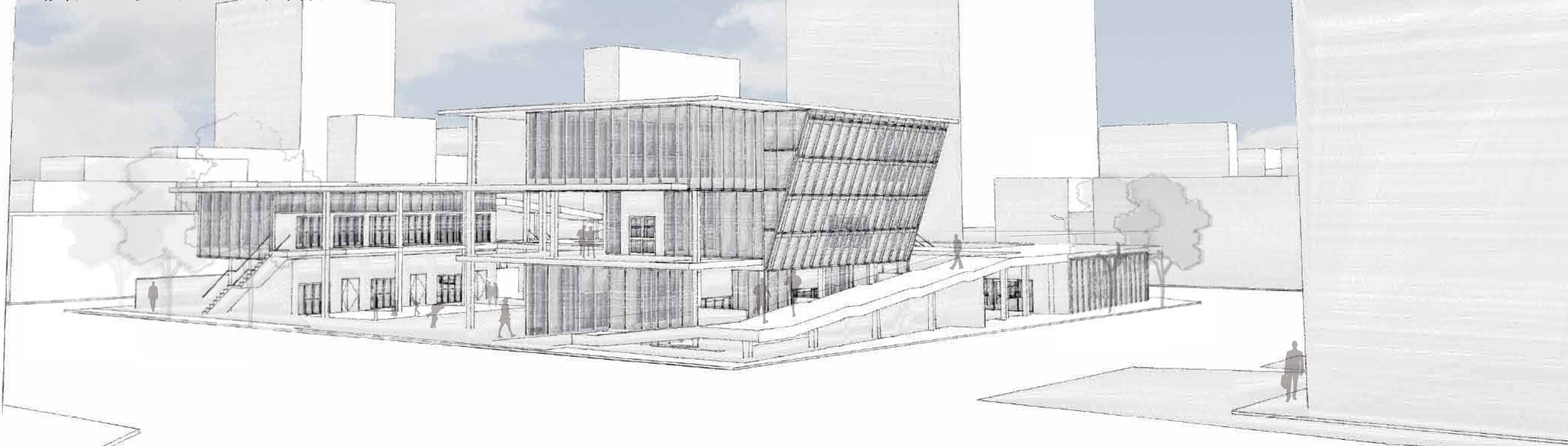


F - SQUARE の可能性

—積極的受動の空間創造—

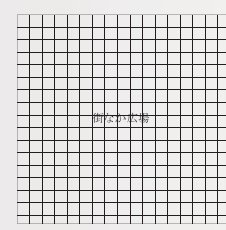


Concept

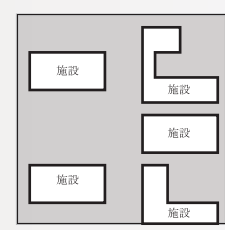
福島駅東口近くの中心市街地に、四角い広場『まちなか広場』がある。そこは、市民に開放された広場として計画され、認知はされているが日常的には仕掛けが少なく広場を利用する人が殆どいないのが現状である。この SQUARE の敷地、単なる県庁所在地・福島市の中心市街地の広場を、復興に向けての活動も含めて日常の様々な活動も受け入れることが出来、結果的に広場の要素もより活かす様な「様々な活動の受け皿となる内外ともに伸びやかな空間」を持つ建築「F - SQUARE」に変えることで「福島の復興活動の見える化」・「人が戻る中心市街地の日常」と相俟って、Fukushima を変えることを目指した。



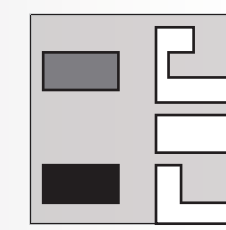
Diagram



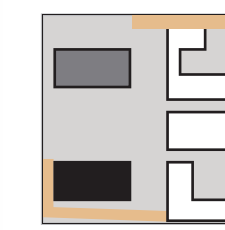
3000mmのグリッド



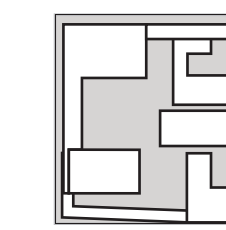
建物の配置で広場の
ダウンサイズ



駅前の建群とハセオ通りの
建物の高さを緩やかに上げる。
(第3 層、灰色2層、白1 層)

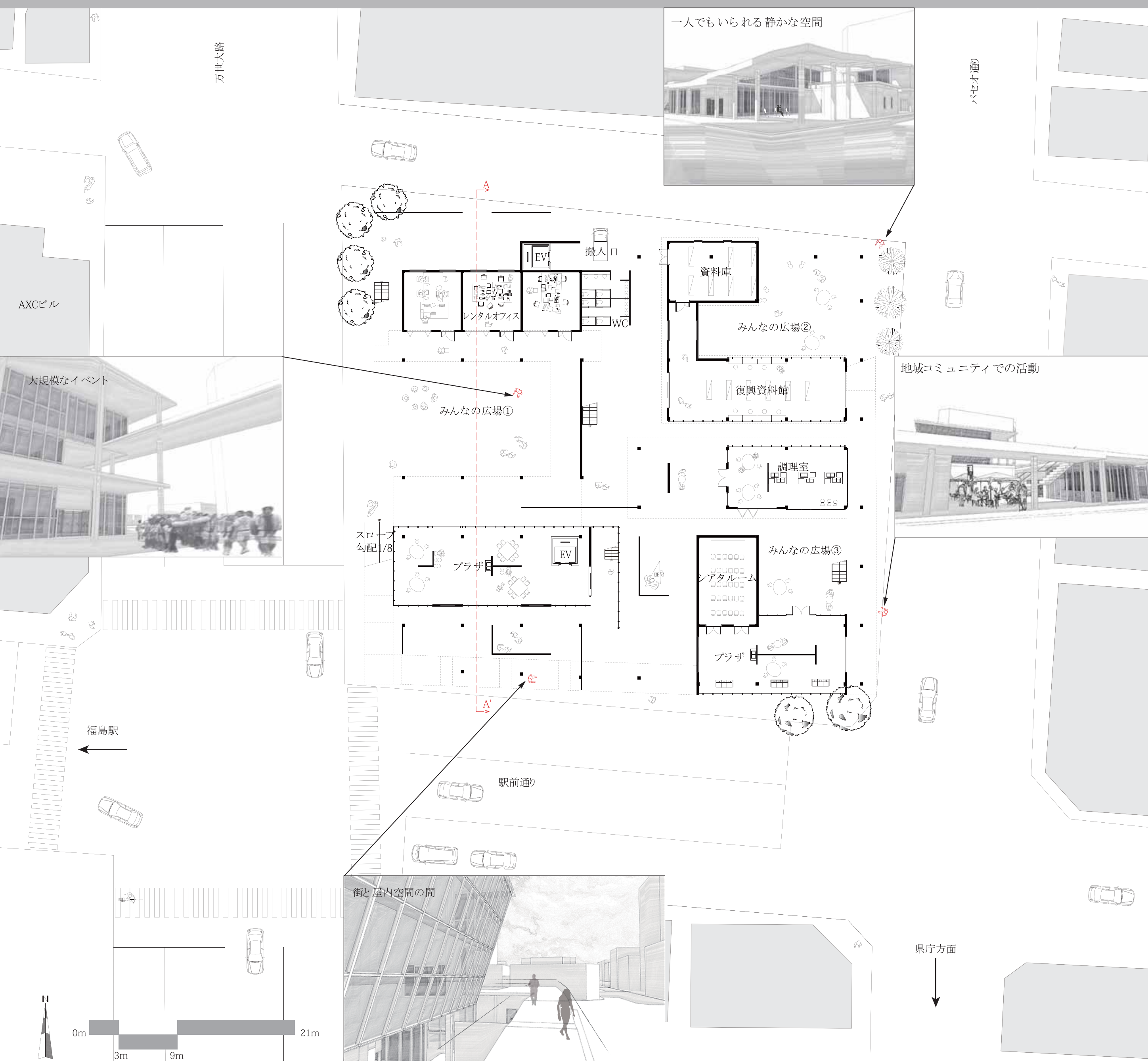


スロープ東屋根によって街と
広場、階段空間のビューポイント
を作る。

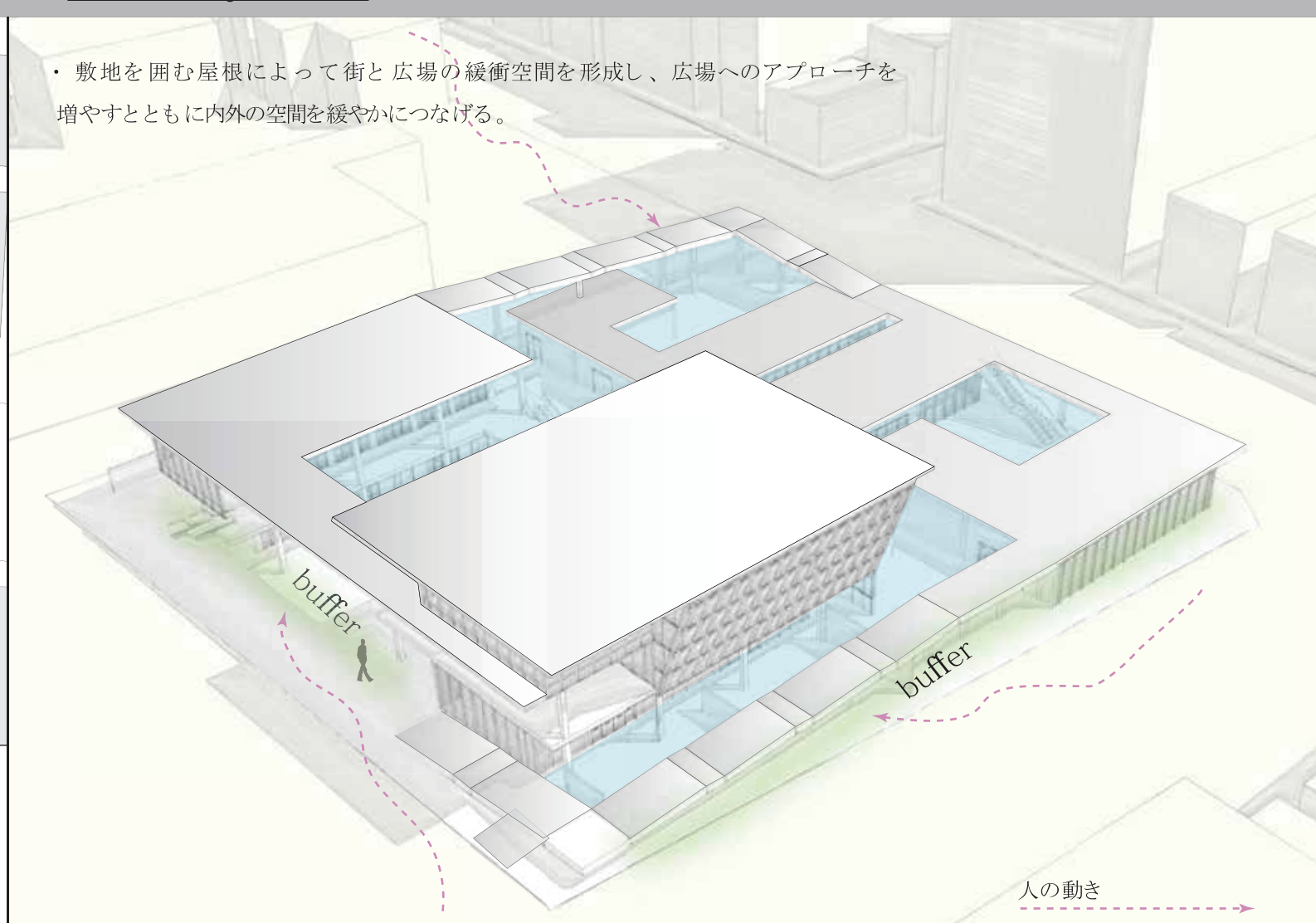


屋根で敷地を囲い、敷地全体を
内外が曖昧な広場空間として
演出させる。

1F Plan



Bird's-eye view



2F Plan



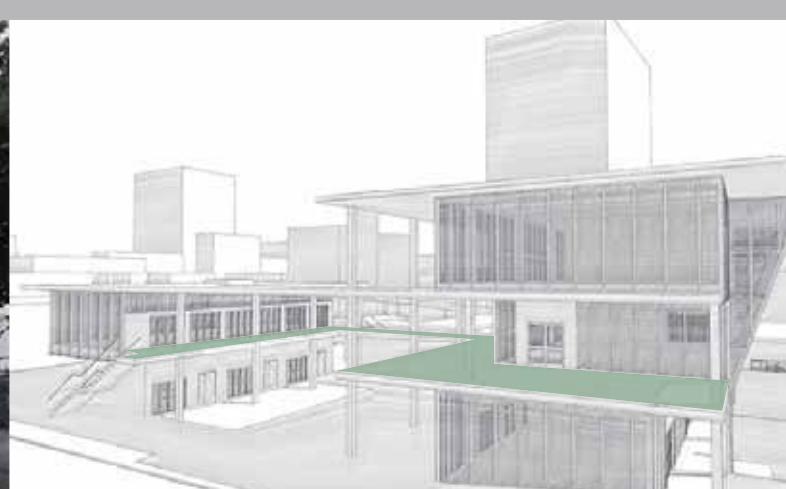
3F Plan



AXCビル



AXCビル、テラスからの景色



Section A-A'

